

4月11日。大原高校は、平成17年の1学期始業式を他校より遅れて迎える。新校長神原文晶先生の挨拶。「桜は、目に見える花だけではなく、樹皮・枝・根などを含めて樹木全体で美しい色を表現しようとしているから見る者に感動を与える。生徒諸君も若いエネルギーを全身に漲らせて、精一杯生きて欲しい。」全校1学年1クラス17名の生徒は真剣そのもの。始業式当日の欠席者は零。いよいよ大原高校、最後の1年の出発。寂しい限りだが、生徒も教職員もいつもと違う緊張感に溢れている。

生徒は、3年生1クラス17名。男子8名、女子9名。春休み、女子は毎日登校して来た。部活動のため。女子全員で9名。バレー部が8人。テニス部は1人。テニス部は、教員が相手。

バレー部は、とにかく熱心。顧問も熱血。8人だから、練習にも人が足りない。中島・末菅・山下・田中の教員と一緒に汗を流す。だから、先生と生徒、生徒同士は仲がよい。職員室では、いつも明るい笑い声が絶えない。当然、思春期ゆえの悩みは皆が抱えているはず。それを乗り越えての素朴な笑顔だと思う。生徒のひたむきな努力、先生の熱心な指導から、私はいつも元気をもらっています。感謝。

彼女らの目標は、6月上旬の県総体2勝。昨年は、久しぶりに1勝した。美作総体で敗れた久世高校にやっと勝った。ボールが相手コートに弾んだ瞬間、全員の目に涙が溢れたそうです。

今日、ゲームキャプテンの居安麻衣さんにインタビューした。

Q. チームの特徴は？

A. 「チームワークではどの高校にも負けません。一人ひとは未熟であっても、皆で協力して大きな力を引き出します。」

Q. 県総体に臨む決意は？

A. 「どうしても、昨年以上の2勝したい。大原高校最後のゲームとなるので、心に残る試合にする覚悟です。昨年度の文化祭のテーマ『絆～OHARA HIGH SCHOOL FOREVER in our heart～』をスローガンに全員で燃えています。」

勝負は時の運、相手もある。しかし、勝利に向かって突き進むのもスポーツ。屈託のない彼女たちが、何かを残してくれることは間違いあるまい。

(副校長 上原正之 4月11記)



▲バレー部の練習風景（大原高校体育館にて）

あわくら大学だより

4月15日（金）、あわくら会館大ホールで、第32回あわくら大学入学式&始業式が126名の出席者の中で盛大に挙行されました。

新入生は11名（当日欠席1名、早退1名）、うち女性6名・男性5名でした。式典の中で在校生歓迎の言葉を坂根の壇原行枝さんが、新入生代表挨拶を中土居の河野まさ江さんがされました。

人数的にも女性上位？のあわくら大学ですが、男性陣も遠慮することなく、各講座に積極的にご参加ください。

5月講座は25日（水）の予定で社会見学を計画しております。（詳しくは、追ってお知らせします。）

～新入生は11名～

